

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第30週 （7月25日～7月31日）

★お知らせ

☆夏型感染症（ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱（プール熱）・手足口病）に気を付けて！

ヘルパンギーナ・手足口病・咽頭結膜熱は夏期を中心に流行するウイルス性の感染症で、高知県全域ではヘルパンギーナが注意報値を超えています。

また、病原体検出情報では、臨床診断名「手足口病」として、26週から28週に搬入された検体から、Enterovirusが6例、Parechovirusが1例検出されています。

これらの夏型感染症は主にウイルスが含まれた咳やくしゃみを吸いこんだり、手を介して口に触れたりすることで感染します。幼稚園、保育園、学校等の集団生活では手洗い、うがい等の予防対策に加えて、タオル・コップ等の共用を避ける等して、感染予防に努めてください。これらの感染症はほとんどの場合、予後良好です。しかしまれにですが重症化し、重篤な症状を呈することもありますので、早めに医療機関を受診してください。

○ヘルパンギーナに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第29週の2.30から第30週は2.03とほぼ横ばいですが、須崎で増加しています。中央西では3週連続で警報値を超え、高知県全域と須崎では注意報値を超えています。

ヘルパンギーナは、38℃以上の突然の発熱の後、のどの奥に水ぶくれが出来、水ぶくれが破れた際の痛み等から、食事や水分を十分にとれないために脱水症状になることもあります。

この疾病に対する有効な抗ウイルス薬はないため、治療は高熱や、喉の痛み等への対症療法となりますが、その後2～4日で解熱し、7日程度で治ります。合併症としては、熱に伴う熱性けいれんとまれに髄膜炎や心筋炎が生じることがありますが、ほとんどの場合予後は良好です。

ワクチン等の特別な予防法はありませんが、感染を防ぐためには患者との濃厚接触を避け、手洗い、うがい、咳エチケットなどの一般的な予防法の励行が有効です。

○伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第29週の0.30から第30週では0.17と減少していますが、中央東で増加し、安芸では2週連続して警報値を超えています。

伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。10日から20日の潜伏期間があり、その後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がります。通常1週間程度でそれらは消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。伝染性紅斑は、飛沫感染や接触感染をします。予防は手洗い、咳エチケットです。

○咽頭結膜熱（プール熱）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第29週の0.60から第30週は0.93と増加しています。

また、中央西、須崎、高知市、中央東で増加し、中央西、須崎、高知市では注意報値を超えています。

咽頭結膜熱は、39℃前後の発熱、咽頭炎、結膜炎を主症状とし、例年5月中下旬頃から患者数が増加し始め、7月下旬から8月上旬に流行のピークが見られる夏期の感染症です。

プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染ですが、プールでは眼の結膜からの感染も考えられています。以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう

- 1) 流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は共用を避けましょう。
- 4) プールからあがった時はシャワーをよく浴びましょう。

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第29週の0.03から第30週では0.20と急増しています。高知市、中央西で増加し、高知県全域と高知市、中央西では注意報値を超えています。

百日咳は、感染力が強く、軽症でも菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第30週も基幹定点からの7例に加えて、定点医療機関からのホット情報では19例の報告があるなど、報告数の多い状態が続いていることから、引き続き注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症で、幼児期から学童期によく見られます。感染経路は主に飛まつ感染や接触感染です。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内などでの濃厚な接触で感染します。患者の感染力は発症から10日前後（症状持続の例でも6週間程度）で消失しますが、この間は濃厚な接触をなるべく避けるようにしましょう。

予防対策は手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

☆マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。予防するためのワクチン等はありません。マダニは木の葉や草むらの土の表面に生息しています。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

▲肌を出さないよう、長袖、長ズボン、長靴、帽子、手袋等を着用しましょう。

▲マダニ用の忌避剤を使用する。

▲草の上に直接座ったり、寝転んだりしない。敷物を利用する。

▲脱いだ上着やタオルは、不用意に地面や草の上に置かない。

▲帰宅後は、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認し、新しい服に着替えましょう。

▲野外から帰った犬や猫はダニが付着している可能性があるため、よく見てあげましょう。

▲吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち上がったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

●高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

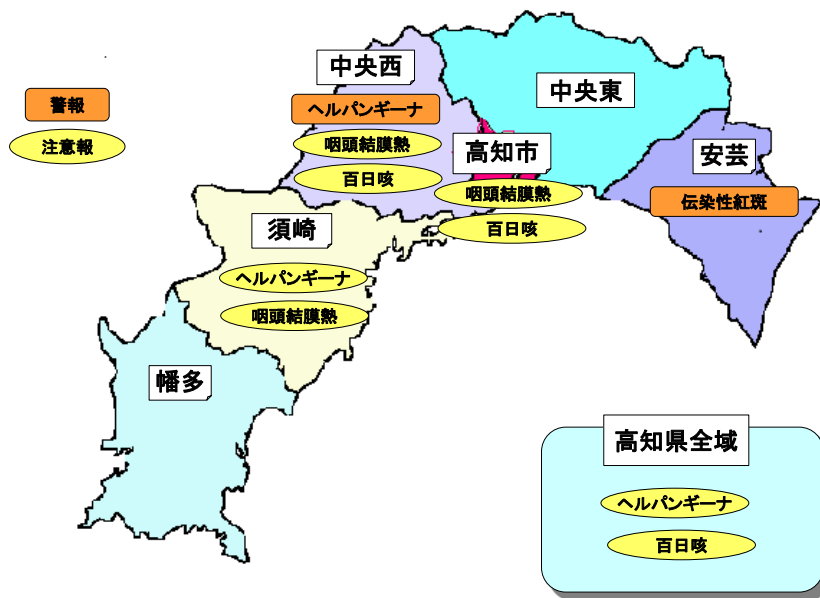
★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）
 30週（7月25日～7月31日）

↑ : 急増
 ↗ : 増加
 → : 横ばい
 ↘ : 減少
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
ヘルパンギーナ	→	2.03	須崎で増加し、中央西では警報値を超え、高知県全域と須崎では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	2.03	幡多、中央東、中央西、須崎で増加しています。
咽頭結膜熱	↗	0.93	中央西、須崎、高知市、中央東で増加し、中央西、須崎、高知市では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	0.63	中央西、須崎で増加しています。
流行性耳下腺炎	→	0.57	幡多、中央西で増加しています。

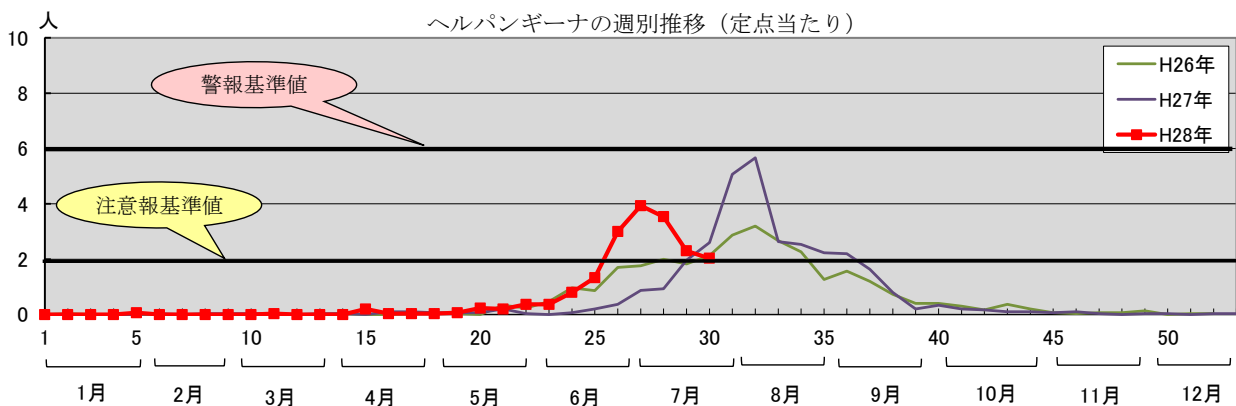
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

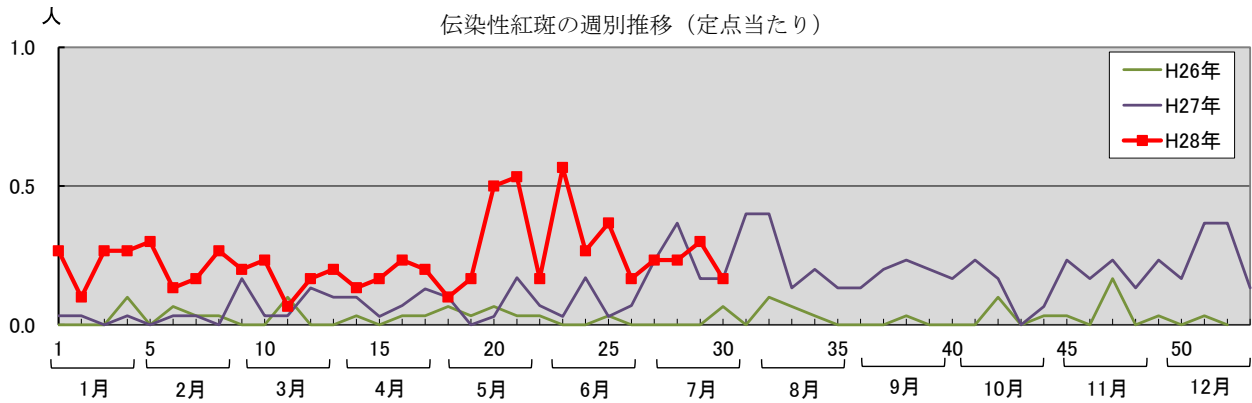
○ヘルパンギーナ 第30週： 2.03 （注意報値：2.00 警報値：6.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.03（前週：2.30）とほぼ横ばいですが、須崎 2.00（前週：0.50）で増加し、中央西では 6.00（前週：6.67）と警報値を超え、高知県全域と須崎では注意報値を超えています。



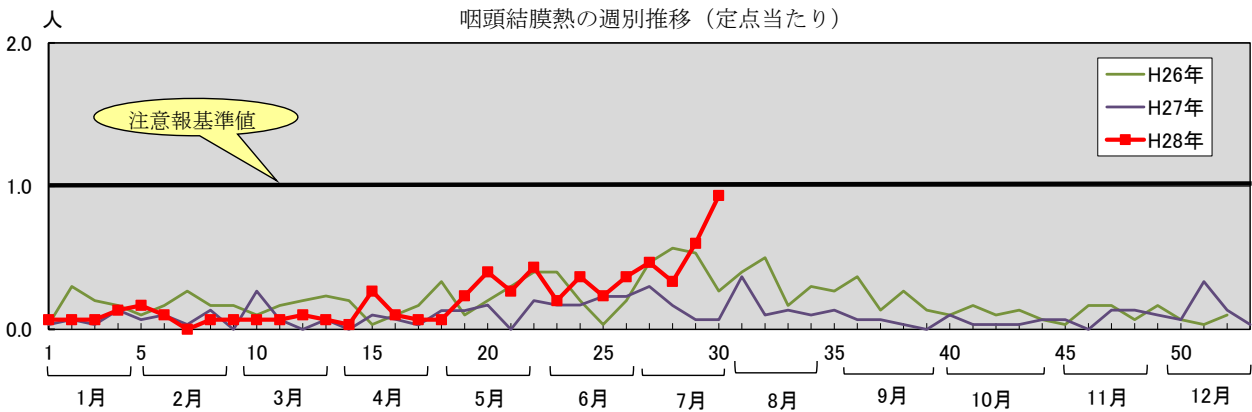
○**伝染性紅斑 第30週： 0.17**（注意報値：1.00 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.17（前週：0.30）と減少していますが、中央東 0.14（前週：0.00）で増加し、安芸では 2.00（前週：3.00）と警報値を超えています。



○**咽頭結膜熱 第30週： 0.93**（注意報値：1.00 警報値：3.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.93（前週：0.60）と増加しています。中央西 2.33（前週：1.00）、須崎 1.50（前週：0.50）、高知市 1.09（前週：0.82）、中央東 0.43（前週：0.00）で増加し、中央西、須崎、高知市では注意報値を超えています。



★**病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
30	急性咽頭炎	1	男	高知市	Respiratory syncytial virus A

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
26	手足口病	2	女	高知市	Enterovirus NT
27	手足口病	2	男	須崎	Enterovirus NT
28	手足口病	6	女	須崎	Enterovirus NT
28	手足口病	2	女	須崎	Enterovirus NT
28	手足口病	2	女	須崎	Enterovirus NT
28	手足口病	1	男	須崎	Enterovirus NT
28	無菌性髄膜炎疑い 手足口病	5ヶ月	男	幡多	Parechovirus 3
29	感染性胃腸炎	2ヶ月	女	幡多	Parechovirus 3
29	無菌性髄膜炎疑い	2ヶ月	女	幡多	Parechovirus 3

★全数把握感染症

第 30 週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	67	50歳代男	須崎
		1	68	80歳代女	中央東
		1	69	70歳代女	安芸
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	10	60歳代男	高知市
		1	11	80歳代男	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	あけぼのクリニック	マイコプラズマ感染症3例（7歳、11歳、12歳：1例核酸同定陽性）
		アデノウイルス感染症1例（1歳）
	いちはら内科小児科	カンピロバクター1例（9歳男）
		マイコプラズマ肺炎1例（9歳男）
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎11例（3歳男、4歳男女、5歳女、6歳男女、7歳男、9歳女、12歳女3人）
		カンピロバクター腸炎1例（9歳女）
		百日咳4例（11歳男、14歳女、44歳女：家族内発症 45歳女4例共 PT-IgG160EU/ml以上）
	細木病院小児科	カンピロバクター2例（1歳男、4歳女）
		ノロウイルス2例（1歳女、4歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	百日咳1例（13歳男 PT-IgG137倍 FHA160）
		溶連菌感染症4例
		ヘルパンギーナ、手足口病は流行している。
		水痘1例（7歳女：ワクチン未接種）
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症1例（8歳女）
高知医療センター小児科	RSウイルス感染症2例（2ヶ月女、1歳女）	
	病原性大腸菌2例（0ヶ月女、25歳女）	
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ1例（2歳男：仁淀川町）
		水痘1例（5歳男：須崎市）
	日高クリニック	アデノウイルス感染症（扁桃炎）1例（5歳男）
		百日咳1例（百日咳菌抗体EIA PT-IgG136）
須崎	もりはた小児科	マイコプラズマ肺炎1例（8歳男）
		百日咳2例（14歳女2人：2例共LAMP- PT160倍）※29週検出
		カンピロバクター腸炎2例※29週検出
幡多	幡多けんみん病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症陽性1例（1歳男）
	さたけ小児科	膿痂疹3例（2歳男、4歳女、7歳男）
		マイコプラズマ3例（3歳男2人、4歳男）

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成 28 年 2 月 15 日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。
診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年6月16日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年7月8日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

●ジカウイルス感染症 定義 (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式 (PDF)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

●政府広報オンライン 何が危ない？どう防ぐ？ジカウイルス感染症 (ジカ熱) 予防のポイント

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html>

●オリンピック・パラリンピックでブラジルへ渡航される方へ

<http://www.forth.go.jp/news/2016/02051708.html>

★全国情報

第28号 (7月11日～7月17日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核357例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症119例

4類感染症：E型肝炎5例、A型肝炎4例、デング熱8例、日本紅斑熱4例、マラリア1例、
レジオネラ症33例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎7例、
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症18例、急性脳炎7例、
クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、
後天性免疫不全症候群7例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、
侵襲性肺炎球菌感染症13例、水痘 (入院例に限る) 3例、梅毒51例、
播種性クリプトコックス症2例、破傷風5例、風しん5例、麻しん1例

報告遅れ：E型肝炎1例、回帰熱2例、重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病2例、
デング熱2例、レジオネラ症6例、レプトスピラ症1例、
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症9例、急性脳炎7例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、水痘 (入院例に限る) 2例、梅毒41例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第30週 平成28年7月25日(月)～平成28年7月31日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第30週							計	前週	全国(29週)	高知県(30週末累計)		全国(29週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/7/31				H28/1/4～H28/7/24		
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	86 (0.02)	14,926 (310.96)	1,582,711 (319.93)		
小児科	咽頭結核熱			3	12	7	3	3	28 (0.93)	18 (0.60)	1,503 (0.48)	192 (6.40)	41,850 (13.25)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1			10	2	1	5	19 (0.63)	26 (0.87)	5,484 (1.74)	1,806 (60.20)	243,633 (77.15)		
	感染性胃腸炎		14		30	4	2	11	61 (2.03)	65 (2.17)	11,089 (3.51)	4,550 (151.67)	554,034 (175.44)		
	水痘			4	1	1			6 (0.20)	4 (0.13)	1,002 (0.32)	211 (7.03)	37,622 (11.91)		
	手足口病	1	4	3				3	11 (0.37)	17 (0.57)	2,249 (0.71)	217 (7.23)	15,140 (4.79)		
	伝染性紅斑	4	1						5 (0.17)	9 (0.30)	870 (0.28)	214 (7.13)	41,379 (13.10)		
	突発性発疹		3	3	1	1	2		10 (0.33)	12 (0.40)	1,489 (0.47)	299 (9.97)	43,528 (13.78)		
	百日咳				5	1			6 (0.20)	1 (0.03)	75 (0.02)	66 (2.20)	1,652 (0.52)		
	ヘルパンギーナ	3	9	20	18	4	7		61 (2.03)	69 (2.30)	11,134 (3.52)	557 (18.57)	54,549 (17.27)		
	流行性耳下腺炎				5	4	1	7		17 (0.57)	15 (0.50)	3,840 (1.22)	561 (18.70)	83,979 (26.59)	
RSウイルス感染症				2					2 (0.07)	2 (0.07)	632 (0.20)	591 (19.70)	25,930 (8.21)		
眼科	急性出血性結核炎								()	()	5 (0.01)	()	242 (0.35)		
	流行性角結核炎								()	()	530 (0.77)	11 (3.67)	13,358 (19.33)		
基幹	細菌性髄膜炎								()	1 (0.13)	10 (0.02)	4 (0.50)	266 (0.56)		
	無菌性髄膜炎							1	1 (0.13)	2 (0.25)	41 (0.09)	25 (3.13)	676 (1.43)		
	マイコプラズマ肺炎		1	4				2	7 (0.88)	4 (0.50)	372 (0.79)	148 (18.50)	7,738 (16.32)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	3 (0.01)	26 (3.25)	210 (0.44)		
	感染性胃腸炎								()	()	6 (0.01)	232 (29.00)	4,985 (10.52)		
計(小児科定点当たり人数)		9 (4.50)	35 (4.86)	98 (8.53)	38 (12.65)	13 (6.50)	41 (7.60)	234 (7.53)		40,420	24,636 (619.76)	2,753,482			
前週(小児科定点当たり人数)		16 (8.00)	39 (5.30)	119 (10.56)	27 (8.99)	10 (5.00)	34 (6.40)		245 (7.94)						

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第30週							計	前週	全国(29週)	高知県(30週末累計)		全国(29週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/7/31				H28/1/4～H28/7/24		
インフルエンザ	インフルエンザ										0.02	310.96	319.93		
小児科	咽頭結核熱			0.43	1.09	2.33	1.50	0.60	0.93	0.60	0.48	6.40	13.25		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50			0.91	0.67	0.50	1.00	0.63	0.87	1.74	60.20	77.15		
	感染性胃腸炎		2.00		2.73	1.33	1.00	2.20	2.03	2.17	3.51	151.67	175.44		
	水痘				0.36	0.33	0.50		0.20	0.13	0.32	7.03	11.91		
	手足口病	0.50	0.57	0.27				0.60	0.37	0.57	0.71	7.23	4.79		
	伝染性紅斑	2.00	0.14						0.17	0.30	0.28	7.13	13.10		
	突発性発疹		0.43	0.27	0.33	0.50	0.40		0.33	0.40	0.47	9.97	13.78		
	百日咳				0.45	0.33			0.20	0.03	0.02	2.20	0.52		
	ヘルパンギーナ	1.50	1.29	1.82	6.00	2.00	1.40		2.03	2.30	3.52	18.57	17.27		
	流行性耳下腺炎				0.45	1.33	0.50	1.40		0.57	0.50	1.22	18.70	26.59	
RSウイルス感染症				0.18					0.07	0.07	0.20	19.70	8.21		
眼科	急性出血性結核炎										0.01		0.35		
	流行性角結核炎										0.77	3.67	19.33		
基幹	細菌性髄膜炎									0.13	0.02	0.50	0.56		
	無菌性髄膜炎							1.00	0.13	0.25	0.09	3.13	1.43		
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.80				2.00	0.88	0.50	0.79	18.50	16.32		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.01	3.25	0.44		
	感染性胃腸炎										0.01	29.00	10.52		
計(小児科定点当たり人数)		4.50	4.86	8.53	12.65	6.50	7.60	7.53			619.76				
前週(小児科定点当たり人数)		8.00	5.30	10.56	8.99	5.00	6.40		7.94						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869